

# 令和6年度 堺市障害者自立支援協議会

## 第3回 強度行動障害支援部会

開催日時：令和7年2月18日（火）10:00～11:10  
場 所：堺市役所本館6階 会議室A

### 次 第

10:00～10:50

1 強度行動障害支援体制整備事業の実施報告

資料 1-1

資料 1-2

10:50～11:00

2 次年度の部会について

資料 2

11:00～11:10

3 その他

令和7年度第1回強度行動障害支援部会 開催日程  
令和 年 月 日（ ） ： ～

## 強度行動障害支援体制整備事業 参画法人一覧

資料 1-1

参画法人	個人参加法人	コアメンバーについて	事業受託法人 (社会福祉法人北摂杉の子会) 担当者
社会福祉法人障友会	株式会社Donuts	法人参加：5名 (事業種別：生活介護、生活介護・就B) 個人参加：1名 (事業種別：共同生活援助)	小林 哲理
社会福祉法人コスモス	社会福祉法人ライフサポート協会	法人参加：5名 (事業種別：生活介護、共同生活援助、短期入所) 個人参加：2名 (事業種別：生活介護、居宅介護)	伊名岡 宏 辻本 紗弥
	社会福祉法人自立支援協会		
社会福祉法人こころの窓	社会福祉法人嘉誠会	法人参加：5名 (事業種別：生活介護、共同生活援助) 個人参加：1名 (事業種別：共同生活援助)	伊名岡 宏 辻本 紗弥

※事業受託法人（社会福祉法人北摂杉の子会）事務局：平野 貴久

堺市「強度行動障害支援体制整備事業」

令和6年度  
第3回自立支援協議会  
強度行動障害支援部会

令和7年2月18日

# 令和6年度スケジュール

# 令和6年度スケジュール 堺市強度行動障害支援体制整備事業

		10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
社会福祉法人 コスモス	コンサル5回			①12月11日(水) 10:00~12:00 ケース初回講座	②1月7日(火) 13:00~15:00	③2月6日(木) 13:00~15:00 ④2月26日(水) 13:00~15:00	⑤3月11日(火) 10:00~12:00	
	専門講座1回				1月10日(金) 17:30~19:00 管理職向け専門講座	2月26日(水) 10:30~12:30 現場職員向け専門講座	←実践報告会振り替え	
	実地研修6日							
	実践報告1回							実践報告は実施せず 専門講座への振り替えを希望
	その他		11月5日(火) 10:30 初回訪問 総合支援センターそら					
社会福祉法人 障友会	コンサル5回		①11月27日(水) 13:30~15:30 わららか草部	12月25日(水) →延期(1月7日)	②1月7日(水) 13:30~15:30 ③1月29日(水) 13:30~15:30 ※大阪府事業同行あり	④2月26日(水) 13:30~15:30 わららか草部	⑤3月12日(水) 13:30~15:30 わららか草部	
	専門講座1回	10月17日(木) 初回訪問 「障害特性の理解」						
	実地研修6日					2月5日(水)×2名 ※1名はGHドーナツ様 2月12日(水)×2名 2月20日(木)×2名		
	実践報告1回						⑥3月26日(水) 17:30~ ミニ報告会	
	その他							
社会福祉法人 こころの窓	コンサル5回		①11月5日(火) 13:00~15:00	②12月5日(木) 10:15~12:15 ③12月18日(水) 13:00~15:00	④1月8日(水) 10:15~12:15	⑤2月6日(木) 10:15~12:15		振り替えの日程は未定
	専門講座1回		11月22日(金) 17:15~18:45 「非常動向け自閉症支援」					
	実地研修6日				1月14日(火)×2名 1月22日(水)×2名 ※1名はヴァンサンク様 1月23日(木)×2名			
	実践報告1回							実践報告は実施せず 訪問コンサルへの振替を希望
	その他	10月23日(水) 10:15 初回訪問 青い鳥						
自立支援協議会 強度行動障害部会(進捗確認)				12月17日(火)			2月18日(火)	

# 評価項目

# 評価項目 1

## 「標準的な支援状況表」

- ①アセスメント（障害特性）
- ②アセスメント（障害特性以外の行動観察）
- ③支援手順書
- ④個別支援計画
- ⑤受容的支援
- ⑥表出的支援
- ⑦記録
- ⑧チームアプローチ
- ⑨その他（事業所内連携）
- ⑩その他（事業所外連携）
- ※医療面

		標準的な支援実施状況表				事業所名：		
		項目	1	2	3	4	5	6
①	A	アセスメント (障害特性)	活用していない	特定利用者の障害特性の把握をし、アセスメントシートに記載している	特定利用者の障害特性を整理・分析している。もしくは行動の背景として活用している。 例：氷山モデルを使って行動の背景を考えている等	普段の支援から障害特性を意識し、障害特性のアセスメントシートを3か月に1回は更新している	複数の利用者に①-1、①-2、①-3アセスメントが実施されている	①-1,①-2,①-3が事業所内で浸透し活用されている
②		アセスメント (障害特性以外の行動観察)	活用していない	特定利用者の行動の要因を把握をしている。 例) 睡眠不足の次の日は不調。月経の前は不調など	特定利用者の行動の要因を把握をし、整理、分析をしている。	普段の支援から行動観察を意識し、アセスメントシートを3か月に1回は更新している	複数の利用者に②-1、②-2、②-3アセスメントが実施されている	②-1,②-2,②-3が事業所内で浸透し活用されている
③	P	支援手順書	活用していない	特定利用者の1つの場面で活用されている	特定利用者の2つ以上の場面で活用されている	活用と改定が定期的実施されている	複数の利用者に支援手順書が活用されている	支援手順書を活用し事業所内で統一した支援が実施できている
④	P	個別支援計画書	活用していない	特定利用者の1つの場面で活用されている	特定利用者の2つ以上の場面で活用されている	活用と改定が定期的実施されている	複数の利用者に活用されている	活用し事業所内で統一した支援が実施できている
⑤	D	受容的支援	活用していない	特定利用者に構造化の手法を持ち入れられ始めている	特定利用者に構造化のアイデアが活用されている	特定ご利用者の構造化が必要に応じて更新されている	複数の利用者に構造化が活用されている	構造化のアイデアが事業所内で浸透し活用されている
⑥	D	表出的支援	表出的支援が必要なご利用者に取り入れられていない	特定利用者に対して意思表出支援を開始している	特定利用者の意思表出の場面・幅がD-2より広がっている	特定利用者以外のケースでも表出的支援を開始している	特定利用者以外のケースでも意思表出の場面・幅がD-3より広がっている	表出的支援が必要な全ご利用者に取り入れている
⑦	C	記録	活用していない	運営指導時に必要な記録のみとっている	行動観察記録（スキーマ・プロット等）が活用されている	目的に合わせた記録の活用がされている	複数の記録が活用されている	事業所内で記録の活用、分析が浸透している
⑧	働く環境	チームアプローチ	理念・基本的価値観の共有 職員間のコミュニケーション（会議、ランチ会等） 人材育成 職員のケア（ストレスマネジメント等） 上記項目で具体的な取り組みがない	理念・基本的価値観の共有 職員間のコミュニケーション（会議、ランチ会等） 人材育成 職員のケア（ストレスマネジメント等） 上記項目で1つ以上具体的な取り組みをしている	理念・基本的価値観の共有 職員間のコミュニケーション（会議、ランチ会等） 人材育成 職員のケア（ストレスマネジメント等） 上記項目で2つ以上具体的な取り組みをしている	理念・基本的価値観の共有 職員間のコミュニケーション（会議、ランチ会等） 人材育成 職員のケア（ストレスマネジメント等） 上記項目で3つ以上具体的な取り組みをしている	理念・基本的価値観の共有 職員間のコミュニケーション（会議、ランチ会等） 人材育成 職員のケア（ストレスマネジメント等） 上記項目で4つ以上具体的な取り組みをしている	理念・基本的価値観の共有 職員間のコミュニケーション（会議、ランチ会等） 人材育成 職員のケア（ストレスマネジメント等） 上記項目のすべての項目もしくはそれら以上の取り組みを行っている
			具体的な取り組み	具体的な取り組み	具体的な取り組み	具体的な取り組み	具体的な取り組み	具体的な取り組み
⑨	その他	【事業所内連携】 管理者との連携 サビ管、児発管との連携 現場職員との連携	連携していない	連携をややしている	連携をしている	連携をよくしている		
⑨	その他	【事業所外連携】 相談支援専門員との連携 地域・関係機関との連携 家族との連携	連携していない	連携をややしている	連携をしている	連携をよくしている		
⑩	医療面	・身体的外面的（皮膚や外科など） ・身体的内面的（内科、整形、耳鼻科、婦人科等） ・精神的（精神科）	【自由記述】					

## 評価項目 2

### 「職員アンケート」

- ①個別支援計画
- ②担当利用者の特性理解
- ③行動障がいや自閉症の理解
- ④特性の基づく環境調整等
- ⑤自己学習
- ⑥職員間のコミュニケーション
- ⑦法人の理念やビジョンについて
- ⑧支援を行う上での満足度

1～6で評価

令和6年度 堺市強度行動障害支援体制整備事業 職員アンケート			
令和	6年	月	日
勤続年数	年		
事業所名			
提供サービス			
内容	行動	※	程度
個別支援計画	1 立てている	1	個別支援計画を意識して支援したことがない。
		2	個別支援計画の達成を意識して、担当者が主に支援を行っている。
		3	個別支援計画の達成を担当者が意識して行っており、全職員（棟やユニットでも可）に周知している。
		4	個別支援計画の達成を担当者を含めた複数名が意識して実践している。
		5	個別支援計画の達成を全職員※（棟orユニットでも可）が意識して実践している。
		6	個別支援計画を全職員※（棟orユニットでも可）で検討・作成し、意識して実践している。
担当利用者の特性について <small>※特性＝得意なこと、好きなこと、苦手なこと、嫌いなこと等</small>	1 理解していない 2 理解している	1	必要性がない。
		2	理解したいが理解するのが難しい。
		3	なんとなく日々の行動から特性を理解しているが、適切に理解できているかどうか分からない。
		4	日々の行動のアセスメントやデータ等の根拠に基づき理解している。
		5	日々の行動のアセスメントやデータ等の根拠に基づき理解し、支援を組み立てている。
		6	日々の行動のアセスメントやデータ等の根拠に基づき理解し、支援を組み立ててチームで共有している。
行動障がいや、自閉症の理解	1 理解していない 2 理解している	1	必要性がない。
		2	理解したいが理解するのが難しい。
		3	研修等で学びなんとなく理解した。
		4	研修等で概ね理解している。実践にはもう少し時間がかかる。
		5	研修等で概ね理解し、利用者支援を実践している。
		6	研修等で概ね理解し、チーム全体で利用者支援を実践している。
特性に基づいた環境調整等	1 実施していない 2 実施している	1	必要性がない。
		2	環境調整の方法を知らない。
		3	なんとなく理解し、実践している。
		4	本人の特性に基づき環境調整を行っている。
		5	本人の特性に基づき環境調整を行っており、必要に応じ見直し、改善している。
		6	本人の特性に基づき環境調整を行い、必要に応じ見直し改善を行い、マニュアル等を作成している。
自己学習	1 していない 2 している	1	必要性がない。
		2	したいがする余裕や時間がない。
		3	職場から指名される研修に参加している。
		4	職場から指名される研修以外にも興味がある研修案内等があれば自ら希望し参加している。
		5	職場から指名される研修も含め、学んできた業務に必要な研修を他の職員に伝達している。
		6	研修（内部研修含む）で学んだことを、職場内などで講師となり研修を実施し伝達している。
職員間のコミュニケーション（相談等）	1 していない。 2 している	1	相談することがない。
		2	相談したいが、多忙等の理由で相談することが難しい。
		3	困ったことなどを仲の良い職員と相談し解決している。
		4	困ったことなどを、全職員※（棟、ユニット）で4週間に1回程度は会議等で相談できる環境がある。
		5	困ったことなどを、会議等で相談でき、さらにその都度チームに相談できる環境がある。
		6	困ったことなどを、会議等でその都度チームに相談できる環境があり、他事業所とも共有している。
法人の理念やビジョンについて	1 知らない 2 知っている。	1	理念やビジョンがあるかどうかもしらない。
		2	理念やビジョンを教えてもらったが、覚えていない。
		3	理念やビジョンがあるということを知っているけど、知っている程度。
		4	理念やビジョンを職員会議等で定期的に確認し知っている。
		5	理念やビジョンに基づいて、支援を実践している。意識して実践している。
		6	理念やビジョンについて、意識して実践し、誰にでも説明できる。
支援を行う上での満足度	1 負担に感じる 2 満足	1	支援の負担感は大きく、かなり悩んで疲れている。
		2	支援の負担感は大きく、悩みも多いが、何とか頑張りたいと思っている。
		3	支援の負担感は軽減できており、前向きになってきている。
		4	支援が楽しく感じられるようになってきている。
		5	支援が楽しく感じている。もっと様々なことを学びたい。
		6	支援が楽しい。現在のチームで様々なことを学び、周囲に伝えていきたい。

※全職員＝宿直などの職員、休日職員等にも書面等でわかりやすく共有しているものも含む。

# 評価項目 3

## 「利用者行動評価」

- ①表出コミュニケーション
- ②受容コミュニケーション
- ③動き
- ④不安定な行動
- ⑤自傷
- ⑥他害・破損
- ⑦不適切な行動
- ⑧大声・奇声
- ⑨突発的な行動
- ⑩異食
- ⑪過食・多飲水・反すう
- ⑫確認行動
- ⑬こだわり
- ⑭睡眠
- ⑮排泄
- ⑯その他の行動

0点～2点の32点満点

## 堺市強度行動障害支援体制整備事業 対象利用者行動評価

法人名 ( )		事業所名 ( )			対象ご利用者名 ( )							
有無 あれば○	行動	頻度による評価			行動の程度などの特記事項 (支援前の状況)	支援前評価 点数	支援 中間評価 点数	支援後評価 点数	支援前と支援後の差異(定量) 支援後の特記事項(定性)			
		0点	1点	2点								
	【表出コミュニケーション】 本人独自の表現方法を用いた意思表示	独自の方法によらず意思表示できる	時々、独自の方法でないと思えばできないことがある	常時独自の方法での意思表示 意思表示できない								
	【受容のコミュニケーション】 言語以外のコミュニケーション手段を用いた説明の理解	日常生活において言葉以外の独自の方法(ジェスチャー、絵カード等)を用いなくても説明の理解ができる	時々、独自の方法でないと思えば説明の理解ができないことがある	常に言葉以外の方法でないと思えば説明の理解ができない。 言葉以外の方法を用いても説明の理解ができない								
	【動き】 多動または行動停止	まれにある。または、月に1回程度	1週間に1回程度	毎日(1日 回)								
	【不安定な行動】 パニックや不安定な行動	まれにある。または、月に1回程度	1週間に1回程度	毎日(1日 回)								
	【自傷】 自分の体を叩いたり傷つけたりすること	まれにある。または、月に1回程度	1週間に1回程度	毎日(1日 回)								
	【他害・破壊】 叩いたり蹴ったり、器物を壊したりなどの行為	まれにある。または、月に1回程度	1週間に1回程度	毎日(1日 回)								
	【不適切な行為】 他人に突然抱きついたり、断りもなく物を持っていく行動	まれにある。または、月に1回程度	1週間に1回程度	毎日(1日 回)								
	【大声・奇声】 環境の変化により突発的に通常と違う声を出すこと	まれにある。または、月に1回程度	1週間に1回程度	毎日(1日 回)								
	【突発的行動】 突然走っていなくなるような突発的な行動	まれにある。または、月に1回程度	1週間に1回程度	毎日(1日 回)								
	【異食】 食べられないものを食べる	まれにある。または、月に1回程度	1週間に1回程度	毎日(1日 回)								
	【過食・多飲水・反すう】 過食、多飲水、反すう等の食へること飲むことに関する行動	まれにある。または、月に1回程度	1週間に1回程度	毎日(1日 回)								
	【確認行動】 気になることなど、何度も同じ確認をする行動	まれにある。または、月に1回程度	1週間に1回程度	毎日(1日 回)								
	【こだわり】 物や人に対する固執、執着が激しい行動	まれにある。または、月に1回程度	1週間に1回程度	毎日(1日 回)								
	【睡眠】 睡眠がとれなくなったり、昼夜逆転などの睡眠に関する事	まれにある。または、月に1回程度	1週間に1回程度	毎日(1日の睡眠時間)								
	【排泄に関して】 頻回トイレに行くなど、排泄、排泄に関する不適切な行動	まれにある。または、月に1回程度	1週間に1回程度	毎日(1日の睡眠時間)								
	その他、本人や周囲が困っている行動がある 【行動のタイトル記入】	まれにある。または、月に1回程度	1週間に1回程度	毎日(1日の睡眠時間)								
								<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援前と支援後の総合的な変化 支援後「出来ることが増えた」「笑顔が増えた」など</li> <li>・支援前、中間、支援後の合計点数</li> </ul>	0	0	0	

# 参加法人の進捗状況

社会福祉法人 コスモス

# 社会福祉法人 コスモス 実施計画

目標設定	
今年度目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の直接支援が出来ている</li> <li>・コアメンバーがアセスメントができるようになり、支援の組み立てができるようになる。</li> <li>・コアメンバーが支援の振り返りから組み立てができる(PDCAサイクルをまわす)</li> <li>・チーム支援を展開できる</li> </ul>
最終目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・強度行動障がいのある方の支援において、堺市内の事業所の核となり、支援をリードしている。</li> <li>・強度行動障がいのある方を対象としたグループホームの支援を行うなど地域生活支援を展開している。</li> </ul>

## 令和6年度予定プログラム

プログラム	実施計画	令和6年度評価	備考
訪問コンサルテーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5回実施予定 12/11、1/7、2/6、2/26、3/11 予定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①12/11(水) 10:00-12:00</li> <li>②1/7(火)13:00-15:00 H様評価キット、F様検討</li> <li>③2/6(木)13:00-15:00</li> <li>④2/26(水)13:30-15:30 ⑤3/11(火)10:00-12:00</li> </ul>	
実地研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6日間を予定</li> <li>1月～2月頃に実施予定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2月18日(火) 4名</li> <li>3月4日(火) 2名</li> </ul>	
専門講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1月10日(金)17:30～19:00</li> <li>管理職向け専門講座「コンサルテーションについて」「強行支援のマネジメントについて」を予定</li> <li>・現場スタッフ向け専門講座 内容・日程は未定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1/10(金) 18:00-20:00 チーム支援とは</li> <li>2/26 10:30-12:30 基礎講座</li> </ul>	
実践報告会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度は実施せず、実践報告会1回分を専門講座に振り替え予定</li> </ul>		

# コスモス

標準的な支援状況表  
(CHえると)

	現状	R7.2 評価		目標
		自己評価	コンサル評価	
アセスメント (障害特性)	2		2	3
アセスメント (特性以外)	2		3	3
支援手順書	3		3	5
個別支援計画書	3		3	5
受容的支援	1		2	3
表出的支援	1		2	3
記録	2		2	4
チームアプローチ	3		3	4
内部連携			3	
外部連携			3	
平均値	2.1		2.6	3.8

標準的な支援状況表  
(CHせんぼく)

	現状	R7.2 評価		目標
		自己評価	コンサル評価	
アセスメント (障害特性)	2	2	2	3
アセスメント (特性以外)	2	2	3	3
支援手順書	4	4	3	5
個別支援計画書	4	4	3	6
受容的支援	3	3	2	4
表出的支援	1	1	2	2
記録	5	5	2	6
チームアプローチ	4	4	3	6
内部連携	3	3	3	4
外部連携	3	3	3	4
平均値	3.1	3.1	2.6	3.8

標準的な支援状況表  
(おおはま障害者作業所)

	現状	R7.2 評価		目標
		自己評価	コンサル評価	
アセスメント (障害特性)	3	3	2	3
アセスメント (特性以外)	3	3	3	3
支援手順書	1	1	3	2
個別支援計画書	5	5	3	6
受容的支援	4	4	2	5
表出的支援	2	2	2	4
記録	4	4	2	6
チームアプローチ	6	6	3	6
内部連携	4	4	3	4
外部連携	4	4	3	4
平均値	3.6	3.6	2.6	4.3

標準的な支援状況表  
(ほくぶ障害者作業所)

	現状	R7.2 評価		目標
		自己評価	コンサル評価	
アセスメント (障害特性)	2	2	2	3
アセスメント (特性以外)	2	2	3	3
支援手順書	2	2	3	3
個別支援計画書	5	5	3	6
受容的支援	3	3	2	4
表出的支援	4	4	2	5
記録	4	4	2	5
チームアプローチ	5	5	3	6
内部連携	3	3	3	4
外部連携	2	2	3	3
平均値	3.2	3.2	2.6	4.2

# コスモス

## 職員アンケート

※R6.10コスモス法人全体 386名  
 ※R7.2コアメンバー 5名

	R6.10	R7.2	R7.9
個別支援計画	3.0	3	
担当利用者の特性理解	3.6	5	
行動障害 自閉症理解	3.8	5	
特性に基いた環境調整等	3.7	4	
自己学習	3.0	3	
職員間コミュニケーション	3.7	4	
法人の理念・ビジョン	3.2	4	
支援を行ううえでの満足度	3.1	4	
平均値	3.5	4	

## 利用者評価 (せんぼくF様)

項目	R6.10	R7.2	備考
表出コミュニケーション	2	2	言葉難しい。腕をもって連れていくなどで欲しいことを伝えている
受容コミュニケーション	1	1	仕事、ご飯、ガイド等の言葉は分かるが、○のあと×のような理解は難しい
多動・行動停止	2	2	気になることがあちこちにあり、よく動いている。目的がある。
不安定な行動			こだわりを制止されると不安定
自傷			イライラ時舌をかむ
不適切な行動	2	2	人を無理に押しやる
突発的な行動	1	1	気になるものがあるとそちらに行こうとする
異食			銭湯で排水溝のごみを口にしようとした
確認行動	2	2	物の位置を確認(キッチンのやかんの取っ手や食器)
こだわり	2	2	靴や歯ブラシの向き、特定の利用者の靴下
排泄	2	2	送迎車内、ソファ、窓から外への排尿
他者を動かす	2	2	他利用者が部屋に戻ろうとする際、トイレに入らせようとする
合計	16	16	

## 利用者評価 (ほくぶ障害者作業所 H様)

項目	R6.10	R7.2	備考
表出コミュニケーション	2	2	首振りて意思を伝える。「待つ・休憩」は本人独自のサイン。
受容コミュニケーション	1	1	簡単な単語はある程度理解。(仕事、トイレ、ご飯等)写真カード興味を示さないことが多いが、稀に写真で伝わる。
多動・行動停止	2	2	部屋の中を歩き回る。気持ちの切り替えがしにくい時は行動が停止する。
不安定な行動	2	1	特定の職員から離れられず探し回る。意にそぐわないと怒って自傷あり。 (少し離れられるようになった)
自傷	1	1	思い通りにならない時は自分の頭やふともも、腕を殴る自傷がある。
他害・破壊	2	2	物を強く叩きつけて時には壊してしまう。(食器やカバンなど)
不適切な行動	2	2	職員が離れないように服や腕を引っ張る
大声・奇声	2	2	甲高い声を出す事が多い。
突発的な行動	1	1	特定の職員が居なくなると突然走り出して探しに行く。
異食	1	0	散歩の際、草や葉っぱを口に入れてしまう。落ちた食べ物を食べてしまう。 (散歩の回数が減ったことも要因か?)
過食・反すう	1	0	好物はあるだけ食べてしまう。他の人の物もとって食べてしまう。 (他人のものをとって食べるのは減少)
確認行動	2	2	行動を行なう前に必ず職員に確認を求める。答えが違うと、納得するまで繰り返し確認
こだわり	2	2	物の配置が気になる。反復行動(儀式的)毎日ある。特定の職員の執着が非常に強く離れない。その職員がいないと動けない。
気持ちの切替え	2	2	何か納得できないことや、見通しが持てていない、やり残した行動がある時など気持ちの切り替えが出来ず固まってしまう。
合計	23	20	

社会福祉法人 こころの窓

# 社会福祉法人 ころの窓 実施計画

目標設定	
今年度目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の直接支援が出来ている</li> <li>・コアメンバーがアセスメントができるようになり、支援の組み立てができるようになる。</li> <li>・コアメンバーが支援の振り返りから組み立てができる(PDCAサイクルをまわす)</li> <li>・チーム支援を展開できる</li> </ul>
最終目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・強度行動障がいのある方の支援において、堺市内の事業所の核となり、支援をリードしている。</li> <li>・強度行動障がいのある方を対象としたグループホームの支援を行うなど地域生活支援を展開している。</li> </ul>

## 令和6年度予定プログラム

プログラム	実施計画	令和6年度評価	備考
訪問コンサルテーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5回実施予定 11/5、12/5、12/18、1/8、2/6</li> <li>予定 ※振替の1日分は未定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①11月5日(火)13:00-15:00</li> <li>②12月5日(木)10:15-12:15 川さん</li> <li>③12月18日(水)13:00-15:00 M谷さん</li> <li>④1月8日(水)10:15-12:15</li> <li>⑤2月6日(木)10:15-12:15</li> </ul>	
実地研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6日間を予定。1/14に2名、1/22に2名、1/23に2名を予定(1/22のうち1名ヴァンサンクの方)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2025/1/14(火)2名</li> <li>・2025/1/22(水)2名</li> <li>・2025/1/23(木)2名</li> </ul>	
専門講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・11月22日(金)</li> <li>非常勤スタッフ向け専門講座</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自閉スペクトラムの基礎研修を実施。学習スタイルや障害特性を映像で紹介し、支援事例も映像で紹介した。17名が参加された。</li> </ul>	
実践報告会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度は実施せず、実践報告会1回分を訪問コンサルテーションに振り替え予定</li> </ul>		

# こころの窓

標準的な支援状況表 (青い鳥)				
	現状	R7.2 評価		目標
		自己評価	コンサル評価	
アセスメント (障害特性)	2	2	2	3
アセスメント (特性以外)	2	2	3	3
支援 手順書	3	3	3	4
個別支援計画 書	5	5	5	6
受容的 支援	6	6	6	6
表出的支援	6	4	4	4
記録	3	3	3	4
チームアプロ ーチ	3	3	4	4
事業所内連携	4	4	5	4
事業所外連携	3	3	3	4
平均値	3.7	3.5	3.8	4.2

コアメンバーアンケート (青い鳥 生活介護 就労B 計5名)			
	R6.10	R7.2	R7.9
個別支援計画	4.6	3.4	
担当利用者の 特性理解	3.6	3.0	
行動障害 自閉症理解	4.2	4.2	
特性に基づいた 環境調整等	3.8	4.0	
自己学習	3.2	3.0	
職員間コミュ ニケーション		3.7	
法人の理念・ ビジョン	4.0	3.4	
支援を行うう えでの満足度	3.4	3.0	
平均値	3.8	3.5	

職員アンケート (青い鳥 生活介護 就労B 42名)			
	R6.10	R7.2	R7.9
個別支援計画	3.7		
担当利用者の 特性理解	3.9		
行動障害 自閉症理解	4.3		
特性に基づいた 環境調整等	4.2		
自己学習	2.9		
職員間コミュ ニケーション	3.9		
法人の理念・ ビジョン	3.5		
支援を行うう えでの満足度	3.4		
平均値	3.7		

# こころ の窓

利用者評価（青い鳥 もずホーム M.M氏）			
項目	R6.10	R7.2	備考
表出コミュニケーション	2	2	発語なし。本人発信の意思表示なし（変化なし）
受容コミュニケーション	1	1	現物で理解されることがある（変化なし）
多動・行動停止	2	2	自身で動かれることなく常に座って過ごされる。（散歩の機会は増えた）
不安定な行動	1	1	玄関に何かしに行かれることあり
自傷	0	0	（変化なし）
他害・破壊	0	0	以前は服を破られることがあった。（変化なし）
大声・奇声	2	2	大声で唸っていることがある。
過食・多飲水・反すう	2	2	調整はしているが提供されれば食べ続ける（変化なし）
睡眠	1	1	睡眠時間が極端に短い日がある（変化なし）
排泄	2	2	便器につば吐きがある（変化なし）
夜間に電気、ドアノブ等のこだわり	2	2	夜間に電気をつける。ドアノブをガチャガチャ（変化なし）
合計	15	15	

利用者評価（青い鳥 ヴィラージュあゆみS.I氏）			
項目	R6.10	R7.2	備考
表出コミュニケーション	1	1	ジェスチャーで表現（文字と実物マッチング、時計理解難しい）
受容コミュニケーション	1	1	職員の言葉ある程度理解。（表情や行動から読み取ろうとされる場面あり。大小の理解は今一つ）
多動・行動停止	2	2	急な立ち止まり、座り込みあり。拒否の手段。（変化なし）
不安定な行動	2	2	急な感情変化（笑っていたら、急に怒り出す）（変化なし）
自傷	2	2	頭を叩く、壁に体を打ち付ける行為（変化なし）
大声・奇声	1	1	（変化なし）
突発的行動	1	1	（変化なし）
過食・多飲水	1	1	自宅では制限できず自由に飲食（変化なし）
確認行動	2	2	男子トイレに腕を出し入れする行為など（変化なし）
こだわり	2	2	服やプリキュアの本などのこだわり（変化なし）
睡眠	2	2	19時～2時に睡眠。2時以降覚醒（変化なし）
排泄	2	2	夜間ベッドに排尿、自宅はトイレに行かず座ったまま排尿（変化なし）
睡眠リズム	2	2	睡眠リズムがずれる（変化なし）
合計	21	21	

社会福祉法人 障友会

# 社会福祉法人 障友会 実施計画

目標設定	
今年度目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用者の直接支援が出来ている</li> <li>・コアメンバーがアセスメントができるようになり、支援の組み立てができるようになる。</li> <li>・コアメンバーが支援の振り返りから組み立てができる(PDCAサイクルをまわす)</li> <li>・チーム支援を展開できる</li> </ul>
最終目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・強度行動障がいのある方の支援において、堺市内の事業所の核となり、支援をリードしている。</li> <li>・強度行動障がいのある方を対象としたグループホームの支援を行うなど地域生活支援を展開している。</li> </ul>

## 令和6年度予定プログラム

プログラム	実施計画	令和6年度評価	備考
訪問コンサルテーション	・5回実施予定 11/27、1/7、1/29、2/26、3/12予定	・1月7日と1月29日に2、3回目の訪問を実施。	
実地研修	・6日間を予定 2月5日、12日、20日に2名ずつ実施を予定 (うち2月5日の1名はGHDーナツの方)	・6日間を予定 2月5日、12日に2名ずつを実施。	
専門講座	・10月17日(木)17:30～19:00 現場スタッフ向け「自閉症の障害特性について」の講義を実施	・約20名が参加 感染拡大中のためオンラインで開催	
実践報告会	・3/26にミニ報告会を実施予定		

# 障友会

標準的な支援状況表 (わららか草部)				
	現状	R7.2 評価		目標
		自己評価	コンサル評価	
アセスメント (障害特性)	2	2	2	3
アセスメント (特性以外)	3	3	2	3
支援 手順書	3	3	2	4
個別支援計画 書	2	2	2	4
受容的 支援	3.5	3.5	3.5	6
表出的支援	2	2	2	3
記録	3	3	2	4
チームアプロ ーチ	2	2	2	3
事業所内連携	3	3	3	4
事業所外連携	2	2	2	3
平均値	2.6	2.6	2.3	3.7

コアメンバーアンケート (わららか草部 塚みなみ 計5名)			
	R6.10	R7.2	R7.9
個別支援計画	3.4	3.8	
担当利用者の 特性理解	3.8	4.3	
行動障害 自閉症理解	4.0	4.5	
特性に基いた 環境調整等	4.6	4.3	
自己学習	3.0	3.3	
職員間コミュ ニケーション	4.0	3.8	
法人の理念・ ビジョン	3.0	3.5	
支援を行うう えでの満足度	4.2	4.0	
平均値	3.8	3.9	

職員アンケート (わららか草部 20名)			
	R6.10	R7.2	R7.9
個別支援計画	3.1	3.5	
担当利用者の 特性理解	4.1	4.1	
行動障害 自閉症理解	4.1	4.4	
特性に基いた 環境調整等	3.9	4.1	
自己学習	3.3	3.5	
職員間コミュ ニケーション	3.4	4.3	
法人の理念・ ビジョン	3.5	3.7	
支援を行うう えでの満足度	3.3	4.0	
平均値	3.6	3.9	

# 障友会

利用者評価（わららか草部 T氏）			
項目	R6.10	R7.2	備考
表出コミュニケーション	0	1	言葉でコミュニケーションが取れる（伝えることが難しいこともある）
受容コミュニケーション	1	1	変更時視覚的にわかる説明が必要
多動・行動停止	2	2	常に落ち着きがない 気になるものには走る
不安定な行動	2	2	気になると挑発行動、確認行動が増える
自傷	2	2	頭を叩く、泣く、叫ぶ ご自宅が多い
不適切な行動	2	2	こだわりのある箱を使う順番を気にして無理に渡す
大声・奇声	2	2	変更時や不調時は高い声で叫ばれる
突発的行動	2	2	気になる人や物を見つけると走り出し確認する
確認行動	2	2	職員、利用者の休み、日程、作業の順番など毎日確認。
こだわり	2	2	行動（確認、トイレ）によって行う人が決っている
睡眠	2	2	昼夜逆転あり
挑発行動	2	2	スケジュールの確認が何度もある。挑発行動もある。
合計	21	22	

利用者評価（わららか草部 Y氏）			
項目	R6.10	R7.2	備考
表出コミュニケーション	1	1	職員の手を引く・1語文 ストレス時手を噛み表現
受容コミュニケーション	1	1	簡単な単語の意味は理解 意味理解は弱い
多動・行動停止	2	2	飛び跳ねる。急に走る 気になるところへ行く
不安定な行動	2	2	ストレス時に飛び跳ねる 手を噛む、耳をふさぐ
自傷	2	2	手を噛む自傷
他害・破壊	1	1	支援者の手を自身の額に強く押し付ける
不適切な行動	2	2	興味物を触る カラーコップを重ねる
大声・奇声	2	2	ストレス時大きな声
突発的行動	2	2	トイレに行く際、作業ボックスを重ねる際走る
過食・反すう	2	2	食事時、口に入れた物を出して障る。錠剤を噛砕く
こだわり	2	2	作業ボックス、カラーコップのこだわり
行動の切替え	2	2	行動の切り替えが難しい
合計	21	22	

# 個人参加法人

※ 令和7年2月現在、職員アンケート集計中

# ライフサポート協会はぴな

# 自立支援協会 ケアサポートしのための

職員アンケート  
(生活介護、10名)

コアメンバーアンケート  
(生活介護 1名)

職員アンケート  
(行動援護 19名)

コアメンバーアンケート  
(行動援護 1名)

	R6.10	R7.2	R7.9
個別支援計画	4.4		
担当利用者の 特性理解	4.4		
行動障害 自閉症理解	5.0		
特性に基いた 環境調整等	4.6		
自己学習	3.2		
職員間コミュ ニケーション	4.1		
法人の理念・ ビジョン	4.6		
支援を行うう えでの満足度	4.3		
平均値	4.3		

	R6.10	R7.2	R7.9
個別支援計画	4		
担当利用者の 特性理解	5		
行動障害 自閉症理解	5		
特性に基いた 環境調整等	5		
自己学習	6		
職員間コミュ ニケーション	4		
法人の理念・ ビジョン	5		
支援を行うう えでの満足度	6		
平均値	5		

	R6.10	R7.2	R7.9
個別支援計画	3.6		
担当利用者の 特性理解	4.1		
行動障害 自閉症理解	4.7		
特性に基いた 環境調整等	4.4		
自己学習	2.8		
職員間コミュ ニケーション	4.1		
法人の理念・ ビジョン	4.6		
支援を行うう えでの満足度	3.4		
平均値	4		

	R6.10	R7.2	R7.9
個別支援計画	4		
担当利用者の 特性理解	2		
行動障害 自閉症理解	5		
特性に基いた 環境調整等			
自己学習	4		
職員間コミュ ニケーション	5		
法人の理念・ ビジョン	5		
支援を行うう えでの満足度	5		
平均値	4.3		

# ヴァンサンクつつじ

職員アンケート  
(GH、生活介護、就B 36名)

	R6.10	R7.2	R7.9
個別支援計画	2.6		
担当利用者の特性理解	3.4		
行動障害自閉症理解	3.9		
特性に基いた環境調整等	3.4		
自己学習	3.2		
職員間コミュニケーション	3.6		
法人の理念・ビジョン	2.5		
支援を行ううえでの満足度	3.7		
平均値	3.3		

コアメンバーアンケート  
(GH 1名)

	R6.10	R7.2	R7.9
個別支援計画	3		
担当利用者の特性理解	5		
行動障害自閉症理解	5		
特性に基いた環境調整等	6		
自己学習	6		
職員間コミュニケーション	5		
法人の理念・ビジョン	5		
支援を行ううえでの満足度	6		
平均値	5.1		

# グループホームドーナツ

職員アンケート  
(グループホーム 6名)

	R6.10	R7.2	R7.9
個別支援計画	3.0		
担当利用者の特性理解	3.7		
行動障害自閉症理解	3.5		
特性に基いた環境調整等	3.8		
自己学習	3.7		
職員間コミュニケーション	3.5		
法人の理念・ビジョン	3.0		
支援を行ううえでの満足度	2.7		
平均値	3.4		

コアメンバーアンケート  
(グループホーム 1名)

	R6.10	R7.2	R7.9
個別支援計画	4		
担当利用者の特性理解	5		
行動障害自閉症理解	4		
特性に基いた環境調整等	5		
自己学習	4		
職員間コミュニケーション	4		
法人の理念・ビジョン	5		
支援を行ううえでの満足度	3		
平均値	4.3		

## 令和7年度 部会・強度行動障害支援体制整備事業 実施スケジュール（予定）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
強度行動障害支援部会	部会開催			第1回部会 (事業進捗管理、課題整理)				第2回部会 (事業報告・評価、普及啓発)		第3回部会 (事業進捗管理、普及啓発)		第4回部会 (事業報告・評価、次年度協議)	
	事業評価・報告					市協議会へ報告		市への事業評価報告				市への事業評価報告 市協議会へ報告	
強度行動障害支援体制整備事業	コンサルテーション		コンサルテーション ①～⑨										
	実地研修・実践報告会			実地研修 ①～⑩ (場所未定)		実践報告会① (法人)						実践報告会② (市域向け)	
	参画法人等	目標設定 研修等開始		部会への参加		アンケート結果等 作成・報告(専門 的法人へ)		部会への参加		部会への参加	アンケート結果等 作成・報告(専門 的法人へ)	部会への参加	評価通知の受 領、次年度の年 間計画書作成・ 提出(堺市へ)
	専門的法人	事業開始 参画法人の目標 設定への助言		部会への参加、 資料提供・事業 報告		効果測定(職員 アンケート等結果 集約・分析・参画 法人へのフィード バック)		部会への参加、 資料提供・事業 報告		部会への参加、 資料提供・事業 報告	効果測定(職員 アンケート等結果 集約・分析・参画 法人へのフィード バック)	部会への参加、 資料提供・事業 報告	次年度契約 (堺市)

※事業のスケジュールは各参画法人の可能な日程に応じて、随時、調整しながら実施

**令和 6 年度 堺市障害者自立支援協議会**  
**第 3 回 強度行動障害支援部会 議事概要**

---

日時 令和 7 年 2 月 18 日 (火) 10:00~11:05

場所 堺市役所本館 6 階 会議室 A

出席者 林 (施設部会)、植田 (関西大学)、平野 (北摂杉の子会)、吉川 (アプリコット堺)、  
河瀬 (堺区地福)、佐門 (北区地福)、柳 (障害支援課)、川野・川崎 (障害者更生相談所)、  
石橋 (北区基幹)、陳 (コスモス)、藤原 (障友会)、木村 (こころの窓)

傍聴 1 名

---

**1. 強度行動障害支援体制整備事業の実施報告について (資料 1-1) (資料 1-2)**

(専門的法人)

評価の方法について改めて説明。

**コスモス**

実践報告会を専門講座に振り替え、管理職向けと現場職員向けに 2 回実施。各事業所で標準的な支援について取組を始めたところ。現状の欄は 11 月時点の評価を記している。現時点ではコンサルタントの評価は厳しく出ているが、今後変化すると思う。

職員アンケートについて、令和 6 年 10 月は法人全体に実施。令和 7 年 2 月はコアメンバーにお願いしている。利用者評価については、支援の開始には至らないが、1 ケースはすでに結果が出ている。

**こころの窓**

実地研修と訪問コンサルテーションの 5 回が終了。標準的な支援状況表では自己評価に対してコンサルタントの評価が高い。アンケートは前回より自己評価が下がっているが、研修での学びから、気づきに繋がり、自己評価が下がることはよくある。利用者の 2 名に大きな変化はないが、特性に応じた検査を取ることで見えてきた部分として、コミュニケーションの部分が意外と難しいという発見を書いている。課題であり強みでもある。

**障友会**

作業療法士の資格があるコンサルタントが担当。アセスメントを丁寧に実施しているので、これから期待している。職員アンケートの理解の項目では、特性理解やアセスメントに時間をかけたことで見えてきたことだと思う。Y 氏の利用者評価に誤りがあり、22 点ではなく正しくは 21 点。今回のコンサルテーションでは、大阪府事業の 3 年目の法人が北摂杉の子会のコンサルテーションに同行し、事業所間で交流を行った。同行した法人も同じように事業の 1 年目には不安を感じていたことや、3 年目で特性がわかってくると利用者に対して申し訳ないことをしていたという思いや支援の面白さを話してくれた。今回の交流で 3 年目のイメージをしてもらい、支援体制が大阪府全域で広がればと思っている。

**<参画法人から訪問コンサル、実地研修での学び、新たな課題についてなど>**

- ・ コンサルタントが検査をする中で、利用者行動評価に挙げた 2 名のケースに共通して相手の意図や言葉を理解することが不十分という結果が出た。本人が一生懸命考えた結果、マイルールを作ってしまったことで、色々な問題が起きていた。本人のこだわりと見えていた部分が、スタッフの声掛けで無くなる部分もあり、今は悩みながら支援を考えている。

専門講座では、チーム支援や組織の重要性等を学び、管理者として学んだことを職員と共有している。現場のスタッフに説明できるのか、コアメンバーの不安な声が訪問コンサルテーションのときに聞こえる。利用者の内面が豊かになることが、豊かな生活に繋がると考えている。職員や利用者が協働する中で変化があれば、やりがいを感じられると信じている。今後は、現場にも入り助言もできればと思う。

- ・ コアメンバーのチームの成熟度も進んでいない中で、ゴールが見えない不安を感じているが、コンサルでは我々に寄り添った助言をいただいている。2名のケースでは、専門的なアセスメントを受けて、利用者の苦手なところ、できていることの整理を行った。当たり前のことであっても、指摘されることで事業所内でも納得して共有できた。何も無い時間を作らないことで、本人も落ち着いて過ごすことができている状況を実地研修で見て学ぶことができた。また、日中のスケジュールを詰め込み過ぎていることや、カードを使った支援の仕方のブラッシュアップなども教えていただき、コミュニケーションを表出できるように理解を深めたいと感じた。組織としては、参考書を読むことで、カード支援や PECS 等、アプローチの方法に力を入れて学んでいる。2年後に事業の成果を出せるのか不安を感じているが、良い刺激になり学ぶことができている。今後、コンサルテーションから現場に戻す過程で、みんなを巻き込む方法を考える必要性を感じている。

→ (部会長) 現場に寄り添って実施していただいている。2年後の不安についても、目標を高く持っていていただいていると感じている。

- ・ 2名のケースを通じて、困っているのは支援者なのか本人なのか、という基本のアセスメントを丁寧に行っているため、直接の支援段階には進んでいない。特性シートの作成に関して、アセスメントを深める段階だが、コアメンバーは真面目で、正解を出さないといけないという意識が強く、その先に繋がる利用者への意識が持ちにくかったことに少し変化が表れている。今後、可能であれば参画法人同士でもコンサルテーションができれば、コンサルテーションに行く人を育てることもできて面白いと思う。実地研修はすごく刺激があり、実際に見ることが大切だと感じた。

更生相談所との共催研修『知的障害と自閉スペクトラム症～当事者の方をモデルに支援の組み立て方を実践しよう～』にも、コアメンバーが1名参加している。研修での成功体験から支援が楽しいと感じてもらえて嬉しい。悩んでいるコアメンバーへは、今は利用者にとって大事な部分を学んでいると鼓舞している。他の人を巻き込むときに必要なことは根拠であり、特性理解についても根拠が必要だと思った。人を怒らせてパターンを作る人について、普段はそうは見えないが、不安が強いのではないかと助言をいただき、想像力についても私たちとの違いを考える中で、コアメンバーにも問いかけ、言葉を引き出すようにサポートしている。

## <補足・質疑応答>

(専門的法人)

コンサルテーションは参画法人にとってプレッシャー。標準的な支援は座学で学んでも難しいため、OJTが必要かもしれない。先ほどもあった、コミュニケーションの課題について、伝えられるツールがあれば、職員も驚くことが起きる。記録を取ることで、本人の好きなことやそこから繋がる強みが見える。実際、支援の組み立てがはじまっても大変な部分も多い。スケジュールを作れば良いということではなく、利用者の過去のエピソードから、丁寧にピントを合わせる作業をめげずに行うことが重要。強度行動障害の方がマイナスな経験をパターン化してしまうのは、同じ行動が安心になるため、インパクトの強いマイナスの経験から得たマイルールに縛られていると想像できる。良い行動を褒めることで、本人の豊かな生活に繋がると考える。

睡眠について記録を取るとわかることもある。職員から見ると本人が寝ていると仕事がスムーズかもしれないが、手持ち無沙汰が辛い人もいる。

来年は2ヵ月に1回と訪問頻度が空くため、コンサルテーションを待たずに質問があればメールでの対応も可能。

→ (委員) コンサルテーションへの同行について、今後、参画法人にも機会があるのか。

→（専門的法人）2、3年目のメニューとして準備している。また、アセスメントについて、ケース検討のグループワークを考えている。

- ・（委員）コアメンバーが持ち帰り、組織としてシフトを組むなど理解が必要だと思う。現場と組織の協力体制はどのように取れているのか。

→（参画法人）コアメンバーの負担はそれほどない。組織として事業に参画するという意識は共有されている。中核的な人材育成についてコアメンバーも考えている。現場に持ち帰る部分は報告をして種をまいているが、自分自身が現場に入らないと難しいと感じている。

→（参画法人）現場の主任と大切なことを一緒に考えて実施している。

→（参画法人）管理者として全面的に支援している。今大事なことをしているとコアメンバーに対しても伝えていく。法人全体に広げることを考える必要がある。

## 2. 次年度の部会について（資料2）

（事務局）資料2のとおり説明。

## 3. その他

- ・ 2/3 更生相談所との共催研修で連続企画シリーズ第3回「知的障害と自閉スペクトラム症～当事者の方をモデルに支援の組み立て方を実践しよう～」実施。今後、行政機関や基幹相談の支援者に向けて、視覚支援について学ぶ機会が必要だと感じている。3/17には、NPO法人ぴーすのぼっしえに協力いただき視覚支援ツールのワークショップを開催予定。この動きを堺市に広げたい。今回、報告いただいたコンサルテーションへの不安な部分についても、視覚支援グッズ作成のアドバイスができることに繋がると考えている。来年度以降に部会の中で研修企画として報告したい。

○令和7年度第1回強度行動障害支援部会について

日時 令和7年6月3日（火） 10:00～12:00

場所 堺市役所本館6階 会議室B